

平成 30 年度 地域力向上事業
「ジュニアジオガイド講座③～火山の魅力を伝えよう！～」
事業報告書

企画指導専門職 尾家 義隆

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と課題解決能力、自ら学ぶ意欲を育成する。さらに、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力を育成する。また、ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞く場を設定することで、自らの将来について考える機会を作る。
- (2) 期 日 平成 30 年 11 月 3 日（土）～4 日（日） 【1泊2日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家及び大観峰ジオサイト
- (4) 参加者 25 名
- (5) 担当職員 尾家 義隆（企画指導専門職） 安部 信吾（事業推進室長）
野尻 明美（事業支援室専門職員） 萱野 太一（事業推進室係員）
田上 正文（事業推進室事務補佐員）
- (6) 講 師 兒玉 夏子 氏（阿蘇ジオパーク推進協議会 事務局員）
花岡 利和 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
山本 俊夫 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
大西 佳代 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
川原美代子 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
花岡 玲子 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
- (7) 内 容 【1日目】大観峰ガイド体験へ向けての原稿作り・練習・リハーサル
ジオに関する仕事をしている方の講話
【2日目】大観峰ガイド体験（大観峰ジオサイト）、発表会、修了式、認定式

2 成果と課題

- (1) 成 果
- 「いろいろな観光客の方に阿蘇の魅力を伝えられてよかったです。とっても楽しかったです。」や「『ありがとう、わかりやすかったよ。』と言われた時が嬉しかった。」「ジオガイドさんが感じていることを僕も感じる事ができた。」という参加者の感想から大観峰ガイド体験を通して伝えることの楽しさややりがい等、ガイドの醍醐味を感じることができたことがわかる。
 - 「ガイドをこれからも続けて、阿蘇のことを知らない人に教えていきたいと思いました。」や「いろいろなことを学べて学校で活かそうだからよかった。」「少し緊張して早口になったから、来年ははっきりと言いたい。」という参加者の感想から、今回の経験を今後の生活に活かしていこうとする意欲付けができたことがわかる。※事後アンケート「阿蘇の自然を人に伝えたいと思いますか。」に対し、96%の児童が「思う」と回答。
 - 継続参加者 25 名（全回、第 1・3 回、第 2・3 回）が認定証・認定バッジを受け取ることができた。毎回の閉会式後の先行受付の成果である。来年度の「ジュニアジオガイド講座」にも参加したいと答えた児童 100%（4・5 年生への事後アンケート）。
 - 班毎で部屋を分けて担当ジオガイドの指導の下、原稿作りや練習をしたことで、集中して取り組むことができた。その結果、2 日目の大観峰ガイド体験では堂々とガイドすることができた。
- (2) 課 題
- 大観峰茶店の一区画を借りて本部を設置し、2 日目に児童がガイドをするという告知看板を立てた。しかし、実際に児童がガイドをしている場所には何の表示もしていなかったため観光客の目に留まりにくかった。来年度は、児童にベストを着せたり、手に持てる看板作りの時間をプログラムに入れたりしてアピールしていきたい。

3 事業の様子



原稿作りの様子



練習の様子



リハーサルの様子



兒玉夏子氏の講話の様子



大観峰ガイド体験の様子



発表会の様子



修了式・認定式の様子